



沢木っこ

「できた!」「わかった!」「そうか!」「なるほど!」を実感できる 沢木っこ～できることより変わること～

○やってみよう! ありがとう! なんとかなる! ありのままに!

雄武町立沢木小学校長 千葉 勝志

教育基本法の実現のために、第4期教育振興基本計画が示されています。これは、めまぐるしく変化する社会で、一人一人が社会の担い手となることや、社会全体のウェルビーイングの向上を目指した教育の羅針盤です。学校においては、特にウェルビーイングを向上させる教育活動が重要になってきます。ところで、ウェルビーイングと似ている言葉にハピネスやハッピーという言葉があります。ハピネスやハッピーとは、その時々が楽しいとか嬉しいという、狭くて短い時間の幸せを意味します。それに対して、ウェルビーイングとは、心も体も健やかで友だちとの関係が満たされているという、広くて長い時間の幸せを意味します。そして、子どもたちのウェルビーイングを向上させるには、それぞれの教育活動において、以下の「幸せになる4つの要素」を取り入れることが大切だと言われています。

「やってみよう!」(自己実現と成長)
「ありがとう!」(つながりと感謝)
「なんとかなる!」(前向きと楽観)
「ありのままに!」(独立と自分らしさ)
～幸福学の第一人者 前野隆司氏より～



「ポップの作り方教室」

今、沢木小学校では読書活動の充実に向けて、幸せになる4つの要素を取り入れた「本のポップコンクール」に取り組んでいます。ただ漠然と本を読むのではなく、ポップ作りを「やってみよう!」と目標を持たせています。そして、雄武町図書館の協力を得て、ポップの作り方教室を開催しています。子どもたちは、丁寧に教えてくれる司書の方に「ありがとう!」の気持ちでいっぱいです。しかし、なかなか思うように進まないこともあります。自分のいいところも悪いところも素直に受け入れられるように、「なんとかなる!」と励ましているところです。そして、最後は「ありのままに!」です。完成したポップは友だちと比べません。自分らしさがあふれている世界で一つだけのポップに、真の価値があります。なお、子どもたちの読書活動は日増しに発展しています。過日行った文化放送委員会のお勧め図書コーナーでは、低学年には絵本を、中学年には図鑑を、高学年には小説を紹介しました。さらに、図書室には「あまんきみこ特集」も設置されました。これらの取組により、6月期の生活リズムチェック週間では、読書をする時間がプラスに好転しました。素晴らしい成果です。

やりがいや感謝の気持ちにあふれ、いつも前向きで自分らしさを活かすことができる教育活動を一層進め、子どもたちのウェルビーイングの向上を目指して参ります。

☆学級のページ

夏休みに楽しかったことや作品づくりで頑張ったことを、子ども達の作文から抜粋して紹介します。作文からは、夏休みに楽しかった子ども達の思い出がとても伝わってきました。

<1・2年生>

夏休みに楽しかったこととして、「沖縄のジャングルに行くととても楽しかったです。」「さくらんぼに恐竜を見に行くと楽しかったです。」「流れ星をお願いごとをしました。」「スイッチのプロコンを買ってもらいました。」「鬼滅の刃の映画を見に行くと感動しました。」などのことを1・2年生は絵日記に書きました。絵にもとても楽しかった気持ちがあらわれていました。

作品づくりで頑張ったこととして、「海のいきものろうそくで、すなのりょうがじょうずにできたこと」「ティーレックスのしっぽをつくるのを頑張ったこと」「メロンソーダちょきんばこのホイップをつけるのを頑張ったこと」「海のシナモンスライムで、ビーズを入れるのが楽しかったこと」「万華鏡で、おりがみとテープをまくのを工夫したこと」が作品票に書かれていました。お家の方と一緒に楽しみながら作品をつくっている姿が思い浮かびました。



<3・4年生>

夏休みの思い出として、「知床に行ったことです。ホテルの部屋もよかったし、お風呂もよかったです。」「いとこと一緒に泊まったことです。一緒にイオンで遊びました。」「ペットの犬と旅に行ったことです。一緒に行くのがはじめてで、ドキドキしました。」「旭川に行ったことです。こびと図鑑のものを買ったり、ガチャガチャをしりました。」「札幌に行ったことです。手稲プールに行ったり、ホテルに泊まったりしました。」「海に行ったことや、イオンに行くと恐竜のしっぽをかわすのをしたことです。」「CHILDHOOD（アスレチック）やサンパレスのプールに行ったことです。」「おたる水族館や紋別のプールに行ったことです。ウォーターライダーにのりました。」「ガリンコ号の船長体験をしたことやエスコンフィールドに行ったことです。」「とうきびやハンバーガー、焼き肉を食べたことです。とてもおいしかったです。」などのことが作文に書かれていました。3・4年生の作文を読んでいて楽しかった思い出がとても伝わってきました。夏休みに経験したことをいかして2学期も元気に意欲的に頑張ってもらいと思います。

<5・6年生>

夏休みの思い出として、「旭山動物園に行くと、フラミンゴやサル、ライオンなどの動物を見たことです。」「いとこと一緒にいろいろな遊び（イヤホンガンゲームやシール交換）をしたことです。」「武雄やハウステンボスに行ったことやログハウスに泊まってバーベキューをしたことです。」「旭川に行くと愛犬と遊んだり、プールに行ったり、流しソーメンをしたことです。」「動物園に行くとカピバラを見たことです。習い事の練習は熱くて大変でした。」「いとこが家に来たり、旭川で自分が好きなグループのグッズを買ったことです。」「武雄の友達と遊んだことです。3人でいろいろなゲームをしました。」などのことが作文に書かれていました。

最初に楽しかったことを何点かあげ、次にそれぞれの楽しかった理由を詳しく書くなど、構成がわかりやすく、思いが伝わりとても読みやすい作文になっていました。継続的に取り組んでいる「書く力」が学年に応じて身に付いてきていることが各々の作文から感じられました。

☆子ども夏祭り（8月6日）



子ども夏祭りでは「ストラックアウト」「射的」「わなげ」に挑戦したり、保護者の皆様が用意してくださった「焼きそば」「かき氷」「わたあめ」「フレンチドック」「フライドポテト」などをご馳走になったり、「パラシュート花火」や「手持ち花火」を楽しんだりしました。子ども達はとても楽しく参加していました。ご準備いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

１学期末、「学校生活に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。その結果を報告致します。児童、教職員も同様の項目で実施していますので、あわせて報告させていただきます。

☆	児	「できたこと」「わかったこと」がたくさんあった。	
	保	できるようになったことや分かるようになったことが増えた。	
	教	できるようになったことや分かるようになったことが増えた。	
1	児	学校での学習は楽しくて、よく分かった。	
	保	学校での学習を楽しみ、理解している。	
	教	学校での学習は楽しみ、よく理解していた。	
2	児	タブレットは、学習に役に立っている。	
	保	学校では、楽しく、効果的にタブレットを使った学習に取り組んでいるようである。	
	教	学校の授業や家庭学習で、学年等の発達段階に応じたタブレットの活用ができていた。	
3	児	学校や家で、よく本を読んだ。	
	保	よく本を読んでいる。	
	教	学校や家で、よく本を読んでいた。	
4	児	授業中、自分の考えをよく発表したり、話し合いで意見を出したりした。	
	保	自分の考えや意見を発表できる。	
	教	授業中、自分の考えをよく発表したり、進んで話し合いに参加したりしていた。	
5	児	決まりをまもって学校生活を送った。	
	保	学校生活などの決まりを守っている。	
	教	ろう下の歩き方など、決まりをまもって学校生活を送っていた。	
6	児	いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う。	
	保	いじめは、どんなことがあってもいけないことを理解している。	
	教	いじめは、どんなことがあってもいけないことだと理解している。	
7	児	色々な人のことを理解しようと心がけ、自分や周りの人の心や体を大切に思っ学校生活を送った。	
	保	色々な人のことを理解しようと心がけ、自分や周りの人の心や体を大切に思っている。	
	教	色々な人のことを理解しようと心がけ、自分や周りの人の心や体を大切に思っ学校生活を送っていた。	
8	児	出会った人に自分からあいさつすることができた。	
	保	進んで挨拶ができる。	
	教	出会った人に自分から挨拶することができていた。	
9	児	業間や昼休みに進んで体を動かしたり、目標をもってなわとびの練習に取り組んだりした。	
	保	よく運動している。	
	教	業間や昼休みに進んで体を動かしたり、目標をもってなわとびの練習に取り組んだりしていた。	
10	児	ゲームのし過ぎや動画の見過ぎにならないように気を付けた。	
	保	ゲームのし過ぎや、動画の見過ぎにならないようにしている。	
	教	ゲームのし過ぎや動画の見過ぎにならないように気を付けていた。	
11	児	早寝、早起き、朝ご飯を心がけた。	
	保	早寝、早起きをし、朝ご飯を食べてから登校している。	
	教	早寝、早起きをし、朝ご飯を食べてから登校していた。	
12	児	自分のことは自分でしようとした。	
	保	自分のことは自分でしようとしている。	
	教	自分のことは自分でしようとした。	

1 学習活動

2 読書活動

3 メディア（ゲームやSNS、動画視聴等）との関わり方

保健指導や防犯教室でメディアとの関わり方を子ども達に伝えてきました。生活リズムチェックシートの活用や授業において、引き続き子ども達に、時間を決めて行う、危険なサイトや課金に気を付けて安全に行うなどのメディア指導を行っていきます。ご家庭でも、子ども達とメディアとの関わりについて話す機会を設けて、ルールづくり等を行って頂けたらと思います。

4 いじめ予防について

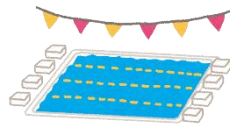
アンケートでは全児童が、「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う。」と答えています。学級でも、道徳の時間や日常生活をとおして、いじめの予防につとめています。1学期に行いました「いじめアンケート」では、嫌な思いをしたことがあると3名の児童がこたえていましたが、児童や保護者の方からの聞き取り、日常の子ども達の様子から、沢木小学校では、いじめの認知をゼロとしています。ご家庭でお子様の様子でお気づきのことがありましたら、学校までご連絡いただけたらと思います。

5 タブレットの活用について

授業での活用のほかに、タブレットを活用して受けるテストが増えてきたり、ご家庭での宿題にもタブレットを活用することが増えてきました。低学年から文字のタイピングを練習しており、文字を打ち込むのもとても速くなってきています。授業では、今年、雄武町に導入されましたロイロノートというソフトを活用して、より友達との意見交流がしやすくなりました。ご家庭でも、家庭学習で知りたいことを調べることに活用したり、宿題に用いることが今後も増えてきますので、ご理解の程、よろしくお願いします。

☆時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！

リーフレットを配付させていただきました。「ご家庭での学習時間 学年×10分＋10分」「運動時間1日60分以上」「メディアにふれる時間1日2時間以内」「読書まずは1日10分以上」とめやすが示されています。参考にして頂けたらと思います。



☆水泳学習の予定

沢木プールの設備の故障（老朽化）から、今年度は、雄武町プールと紋別市プールにおいて水泳学習を行います。9月に下記のようにのこり3回の水泳授業を予定しておりますので、水泳道具のご準備をお願いいたします。

- ・ 9月 3日（水）（5・6校時） 雄武町プール
- ・ 9月12日（金）（2～4校時） 雄武町プール
- ・ 9月26日（金）（2～5校時） 紋別市プール（バス遠足を兼ねる）

9月の行事予定

1	月	全学年5時間授業 シェイクアウト訓練	17	水	読み聞かせ会 移動図書館
2	火	A L T来校日	18	木	フッ化物洗口 A L T来校日
3	水	水泳学習（5・6時間目 雄武町プール）	19	金	児童総会 児童会役員選挙 秋を楽しむ会
4	木	フッ化物洗口 A L T来校日 一日防災教室（雄武小 1～6年生）	20	土	秋を楽しむ会 オホーツク西部地区PTA連合会研究大会（湧別町）
5	金	芸術鑑賞（1～4年）	22	月	全学年5時間授業
9	火	A L T来校日	23	火	秋分の日
10	水	全学年5時間授業	24	水	クラブ活動
11	木	フッ化物洗口 A L T来校日	25	木	フッ化物洗口 A L T来校日
12	金	委員会活動（前期反省） 水泳学習（2～4時間目 雄武町プール）	26	金	バス遠足（紋別プール・科学館）
15	月	敬老の日	30	火	全校朝会（任命式） あゆみ発行日
16	火	全校朝会 A L T来校日			